

「にいがた市民大学」運営委員会 会議概要

令和4年度第2回「にいがた市民大学」運営委員会	
開催日時	令和4年7月19日（火） 午後6時00分～午後8時00分
会場	新潟市生涯学習センター 交流ホール2
出席者	委員：追手学長、霜鳥委員、富永委員、中村（恵）委員、中村（美）委員 野内委員、橋本委員、山田委員 計8名 事務局：教育次長、生涯学習センター所長、所長補佐、センター職員2名
内容	<p>1 開会</p> <p>2 学長挨拶</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 市民大学夏休み親子特別講座および前期講座（9月開講分）について</p> <p>◎資料1及び2に基づき、事務局から令和4年度実施の夏休み特別講座「親子で学ぶ『作って触って謎解き！？日本の美術作品』」及び9月開講前期講座「脱炭素社会に向けて～温室効果ガス削減とその取り組み～」の実施概要について報告を行いました。</p> <p>→質問や意見はありませんでした。</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 市民大学後期ゼミナールについて</p> <p>◎資料3に基づき、事務局から「地域で始まる『孤立』から『支え合い』へ」、「日本の文化と季節の行事」、「佐渡島（さど）の金山」の後期ゼミナールの概要について説明を行いました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にいがた市民大学は新潟市民でなくても受講できるのか。 →新潟市に在住、在勤、在学している方を対象にしているが、定員に満たない場合は、対象外の方も受講可能としている。 <p>(2) 市民提案講座審査について 【非公開】</p> <p>(3) 開設講座体系について</p> <p>◎資料5に基づき、事務局から令和5年度にいがた市民大学の開設講座体系案について説明しました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開講座について、今までは各講座に入れていたが、次年度は公開講座

内 容	<p>がない講座があってもいいということか。</p> <p>→多くの方に市民大学を体験してもらうことが目的のため、受講したいと思う講座を公開講座にさせていただきたい。結果として、公開講座がない連続講座が発生したとしても、やむを得ないと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開講座を無料にするという考えはあるか。 <ul style="list-style-type: none"> →無料は考えていない。高校生以下は無料としている。 ・「多くの受講者が見込める魅力的な講座」が、後期を実施する講座になってもよいか。 <ul style="list-style-type: none"> →内容によっては差し支えない。 ・「市民に学んでほしい講座」と「市民が学びたい講座」は、どういう位置付けになるか。 <ul style="list-style-type: none"> →社会的に意義がある、関心を持ってもらいたいという講座が、「学んでほしい講座」で、多くの受講者が見込める魅力的な講座が「学びたい講座」 ・オンラインのみの講座は、講師は会場で Zoom 講座をするのか、遠隔地から参加するのか。 <ul style="list-style-type: none"> →講師は遠隔地で参加する。会場で視聴する人と Zoom 参加というハイブリッドではなく、Zoom のみの講座として実施する。 ・参加できなかった場合に、後から見られるアーカイブのようなものはあるか。オンライン講座では取り入れやすいので検討してもらいたい。 ・夏休みの子ども向け講座は、子育て世代で忙しいお母さんが参加することにより、他のプログラムを知るとい掘り起こしにもつながるのではないか。参加者数をもう少し広げられないか。 <ul style="list-style-type: none"> →なるべく多くの方に受講いただけるよう務めていきたい。 ・コロナ禍により対面講座からオンライン講座に切り替わり始めている。9割くらいオンライン前提とし、アーカイブを残すというようなことも考えてはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> →受講者層は 60 代以上の高齢者の方が多く、オンラインで参加できない方もいるため、全てオンラインにできないところもある。 ・オンラインは会場で参加できない方にはメリットが大きいので、進めてほしい。受講生同士の交流が生まれないのであれば、受講生交流会などを実施してもいいのではないか。 <p>(4) 前期講座プログラムの作成について (令和 5 年度大学コンソーシアム連携講座案について)</p> <p>◎資料 6 に基づき、事務局から令和 5 年度大学コンソーシアム連携講座案について説明を行いました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 つの開設コースの、生命・自然科学に該当すると判断してよろしいか。
-----	--

内 容	<p style="text-align: center;">→生命・自然科学が最も近いと考える。</p> <p>(前期講座プログラム案について)</p> <p>◎資料7に基づき、各委員から講座プログラム案を説明していただき、意見交換を行い、講座案の絞り込みを行いました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親子向けプログラミング講座」について、過去に市民大学を受講した方が自主グループ化し、プログラミング講座を行っているので、その方を講師とすることも考えている。 ・「まちとデザイン」は興味を持っている方が多いと思うので、開催することで市民大学に目を向けてくれると思う。まちあるきとつながるところもある。 ・集客のために面白いテーマがあっていいと思うが、市民大学でやる以上、もう少しアカデミックなところが必要かなと思う。 ・にいがた2kmはテーマとしてはいいと思うが、市の施策なので、受講料をもらう市民大学で実施するのは少し違うのではないかな。 ・健康をテーマにした講座は人気があるので、「栄養学の基礎と実践」を実施してはどうか。 ・「栄養学の基礎と実践」にスポーツマネジメントで、コーチや選手のメンタルも含めてはどうか。 ・「栄養学の基礎と実践」に「老化の科学と抗加齢対策」の抗酸化学や抗加齢対策を含めてはどうか。 ・オンライン講座には、若い世代が興味を持ちそうな「MBAエッセンシャル」や「将来設計のためのお金の話」がいいのではないかな。 ・「MBAエッセンシャル」は、大学教員でもいいが、若手起業家などの話もいいと思う。若手起業家に大学で授業をしてもらったら、学生の食いつきがすごくよかった。 ・「MBAエッセンシャル」は、学者ではなくても実社会で注目を浴びている人が話してもいいのではないかな。 <p>◎協議の結果、下記の5講座を実施することとしました。</p> <p>「親子で学ぶプログラミング」、「まちとデザイン」、「気候学・気象学から見た現在と将来への備え」、「栄養学の基礎と実践」、「MBAエッセンシャル」</p> <p>◎実施講座に関係する委員間で講座内容を再検討し、次の会議に講座プログラムの修正案を提出することとしました。</p> <p>◎会議で出た意見を事務局で整理し、全委員に共有することとしました。</p> <p>また、実施講座に対する意見等がある場合は事務局に提出し、全委員に共有することとしました。</p>
-----	--

内 容	6 閉会
傍 聴 者	0名
会議資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料 1 令和 4 年度 にいがた市民大学夏休み特別講座チラシ「親子で学ぶ『作って触って謎解き！？日本の美術作品』」 ・ 資料 2 令和 4 年度 にいがた市民大学前期講座プログラム「脱炭素社会に向けて-温室効果ガス削減とその取り組み-」 ・ 資料 3 令和 4 年度 にいがた市民大学後期講座プログラム(案) ・ 資料 4-1 令和 5 年度 市民提案講座応募講座案一覧【非公開】 ・ 資料 4-2 令和 5 年度 市民提案講座 講座案事前評価 集計結果【非公開】 ・ 資料 5 令和 5 年度 にいがた市民大学開設講座体系(案) ・ 資料 6 令和 5 年度 大学コンソーシアム連携講座(案) ・ 資料 7 令和 5 年度 にいがた市民大学前期講座プログラム(案)一覧 ・ 資料 8 令和 4 年度 にいがた市民大学開設講座申込状況